

合唱団フォンス・フローリス 第7回コンเสิร์ต・スピリチュエル
Chœur Fons Floris Concert Spirituel

ジャン＝フィリップ・ラモー

没後250年記念

宗教作品 全曲演奏会

演奏曲

ジャン＝フィリップ・ラモー

Jean-Philippe Rameau (1683-1764)

「神はわたしたちの避けどころ」

“Deus noster refugium”

「あなたの住まいは何と美しいことでしょう」

“Quam dilecta tabernacula tua”

「主が連れ帰ってくださったとき」

“In convertendo Dominus”

「わたしは叫び続けて疲れ」

“Laboravi clamans”

2014年

8月31日(日) 午後2時(1時30分開場) 上野学園 石橋メモリアルホール

Jacques-André Aved, Portrait de Jean-Philippe Rameau © Musée des Beaux-Arts de Dijon

〈独唱と器楽〉 古楽アンサンブル コントラポント

ソプラノ dessus 花井尚美 田村幸代 アルト haute-contre 中嶋克彦 テノール taille 根岸一郎 バス basse 春日保人

ヴァイオリン・ヴィオラ violons 小野萬里 大西律子 長岡聡季 丹沢広樹 阿部まりこ 上田美佐子 深沢美奈

バス・ド・ヴィオロン basse de violon 十代田光子 西澤央子 ヴィオローネ violone 櫻井茂 トラヴェルソ flûtes traversières 菊池香苗 国枝俊太郎

オーボエ hautbois 尾崎温子 森綾香 ファゴット basson 鈴木禎 テオルボ théorbe 金子浩 オルガン、チェンバロ orgue, clavecin 上尾直毅

〈合唱〉 合唱団フォンス・フローリス 〈指揮〉 花井哲郎

チケット: 前売¥3,000 当日¥3,500 学生¥2,500* 全自由席 *学生券は、学生証を提示のうえお求めください

前売取扱: 東京文化会館チケットサービス 03-5685-0650 (6月1日からは休館のため窓口取扱いはありません。セブン-イレブンでの引き取り可能)

東京古典楽器センター 03-3952-5515 スペース・セント・ポール(東京カテドラル内) 03-3941-4971 サンパウロ(四谷駅前) 03-3357-8642

問い合わせ: 大塚 (11~18時) mobile 090-2525-0874/email otsuka@fonsfloris.com 主催: フォンス・フローリス 合唱団フォンス・フローリス

フランスのバロックを代表する作曲家の一人、ラモーが今年没後250年を記念します。ラモーといえばオペラが有名で、そのほかクラヴサン作品、室内楽、カンタータなどにも名曲があります。宗教作品として残されているのは4曲のみです。この演奏会はその全宗教作品をすべて聴くことのできる、またとない機会です。独唱、合唱、管弦楽によって、主に詩編を歌詞としたフランスの大規模な宗教音楽「グラン・モテ」のスタイルで作られています。装飾豊かなアリア、緻密に作り込まれた合唱、劇的なオーケストラと、ラモーならではの魅力がいっぱいに詰まった作品ばかりです。とくに、「主が連れ帰ってくださったとき」"In convertendo Dominus"は18世紀パリで行われた公開演奏会シリーズ「コンセル・スピリチュエル」でも取り上げられた作品です。そして今年合唱団フォンス・フローリスによる定期公演コンセル・スピリチュエルで鮮やかに甦ります。

合唱団フォンス・フローリス Chœur Fons Floris

フランス・バロックの宗教音楽を専門とする合唱団。フォンス・フローリス古楽院の受講生、また花井哲郎指導団体が中心となって、2006年にプロジェクト合唱団として発足、2011年より独立した合唱団として再スタートした。東京と関西でそれぞれ練習を進め、合同で演奏会を開催する。フランス語的なラテン語発音、イネガルや装飾法など、フランス・バロックに固有の演奏法にこだわって練習に励んでいる。今まで、シャルパンティエ、リュリ、ドラランドらの、主にグラン・モテ（大規模宗教作品）を演奏してきている。
ホームページ <http://www.fonsfloris.com/choeur/>

古楽アンサンブル コントラポント Contraponto

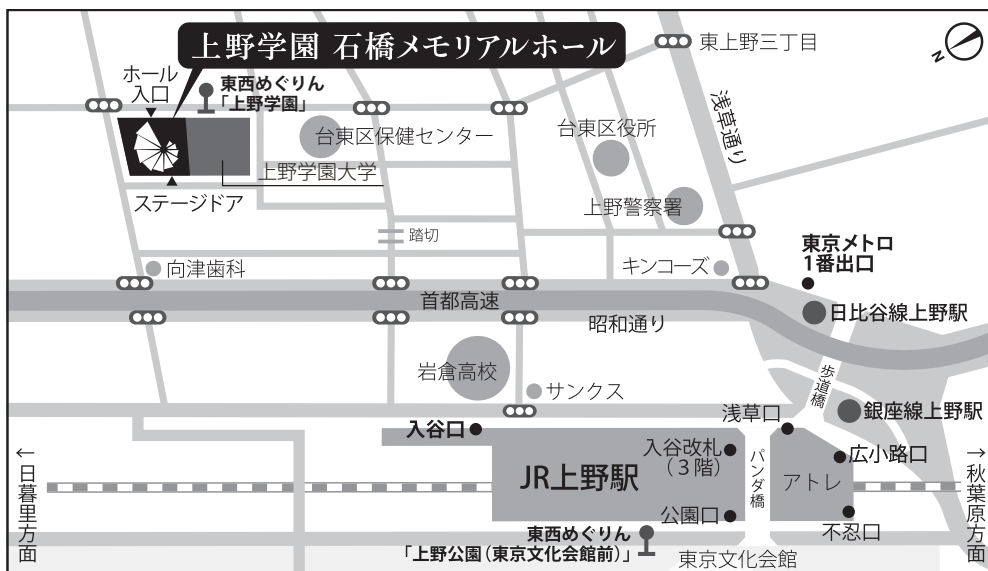
花井哲郎をリーダーとして2005年に結成された古楽声楽家、古楽器奏者によるアンサンブル。17世紀を中心に、後期ルネサンスからバロックの宗教音楽をレパートリーとする。2010年に合唱隊を併設。プログラムによって、各パート人ずつの器楽・声楽によるアンサンブル、ア・カベラの合唱、そして独唱、合唱にバロック・オーケストラという形態まで、それぞれの作品にふさわしい編成をとる。作品の持つ可能性を最大限に引き出すために、時代・地域に固有の演奏様式に徹底的にこだわった演奏、また声楽家と器楽奏者が音楽のみならず「音」そのものに対するイメージを共有して、各自の独創性を生かしながらも「対法的に」一体となった演奏を目指している。
これまで取り組んできた音楽は、ビクトリア、ジェズアルドといったルネサンス音楽、ガブリエリ、モンテヴェルディなどヴェネツィア宗教音楽の黄金時代、ドイツ・バロックの3大Sシャイン、シャイト、シュッツ、スペインのピリヤンシコと18世紀イエズス会宣教時代ラテン・アメリカの宗教作品、フランス・バロックの作曲家シャルパンティエ、デュ・モン、クーブラン、ドラランドなど、多岐にわたる。
ホームページ <http://www.fonsfloris.com/c/>

花井 哲郎 Tetsuro Hanai (指揮・指導)

古楽演奏家。早稲田大学第一文学部哲学専攻卒業後、アムステルダム・スウェーリンク音楽院にて、オルガンとチェンバロを学ぶ。ロッテルダム音楽院において合唱指揮と管弦楽指揮のディプロマを取得。ブラバント音楽院にて古楽声楽アンサンブルをレベッカ・ステュワートに師事。滞欧中、教会音楽家、合唱指揮者、鍵盤楽器奏者として活動し、またグレゴリオ聖歌の研究・演奏活動にも従事する。1997年に東京にて「ヴォーカル・アンサンブルカペラ」を創設、以来ルネサンス・フランドルの宗教作品の演奏を続ける。2005年には「古楽アンサンブル コントラポント」を結成、リーダーとして17世紀を中心としたバロックの宗教音楽演奏にも力を注ぐ。また、古楽をレパートリーとするアマチュアのアンサンブル、合唱団、管弦楽団などを指導するほか、グレゴリオ聖歌とルネサンス音楽の普及活動を行う。
フォンス・フローリス古楽院院長、国立音楽大学講師。NHK-FM『ビバ! 合唱』の案内人を担当。



第1回コンセル・スピリチュエル 2006年9月東京カテドラルにて



上野学園 石橋メモリアルホール
〒110-8642東京都台東区東上野4-24-12
学校法人上野学園内

- JR各線「上野駅」入谷改札より入谷口から徒歩8分
- 東京メトロ・日比谷線/銀座線「上野駅」1番出口より徒歩8分

※ 駐車場・駐輪場はございません。
公共交通機関をご利用ください。